

## 各地保育界狀況

ト次第不同

この報告は餘程以前に諸方からお送り頂きましたものを、編輯上の都合で今日まで掲載が延引して居りました、従つてこの報告以後に新しい御計畫なども、もとより各方面におありの事と存じます。然るに、時おくれのものなこゝに御紹介致します事は讀者諸君にもお詫び致さればなりません、しかしこれによつて幾分でも各地の保育界狀況を窺ふ事が出来れば幸と存じます。(編者)

### ◎静岡市保育界

静岡櫻花幼稚園 宇式 かん

一、當市内保育會員相互の向上發展及び親睦を圖る爲め例會として年三回の會合を致して居ります又東西名士の御來園を機として臨時會を催して御高説を伺ふ様にいたして居ります。

1、最近の例會としては本年二月十五日(土曜日)私立英和幼稚園内に於て催し集りましたものは各園長及保母二十餘名席上ポルド英和幼稚園長の米國幼稚園近況の御話が御座いまして後雑談をかはし一同幼児の氣分になりて二三の遊びをいたして會を終りました。

2、臨時會としては本年一月二十日幸ひにも大阪より醫學士竹

村一先生名古屋保育會へ講師として御出でましたの御序とて懇々御來園特に公私の幼稚園を御覽下さいましたのでその御批評を伺はんと早速臨時茶話會を開き同先生の幼児教育に關する有益な御話を伺つて現代に超越したる新思潮に浴し當保育界に取り多大の刺激となりました事は同先生に深く感謝する次第で御座います。

一、市内幼稚園保母の有志毎週一回(凡二時間)午後三時より静岡縣静岡師範學校教諭文學士久保川平四郎先生に心理學の御講話を又毎週土曜日正午より(凡三時間)静岡縣女子師範學校教諭關口曉三郎先生に黑板畫の御指導を仰ぎその集會の都度相互に保育上につきて經驗談或は失敗談などかたりかはし又は先生方の御意見など伺ひて修養の道をはかつて居ります。

一、益々斯道の發展を圖らんが爲め小學校と相談の上大正五年より小學校と幼稚園との聯絡機關としてふたば會なるものを設け各學期毎に一回宛の會合を催して居りますさりながら昨冬は殘念にも流會となり本年は未會なるため近況を申上ぐる事は出来ませんなど大體左の様なる事項につきて打合せをいたしませす

1、相互の參觀

イ、小學校よりは特に新學期前に、幼稚園よりは特に新學期になりてより。

ロ、小學校低學年の研究授業參觀後時としては批評會にも列席いたします。

2、打合せ

適當の時期に於いて新入學兒童の學習狀態につきての懇談。

3、保育修了期に於ける其幼児につきての個性調査をなし之を小學校側の参考資料として提供すること。

正 大 年 度 花 櫻 幼 稚 園 修 了 児 調 査 表														
氏名	生年月日	年 月 日	保育年 年 月 日	觀 察 事 項					感 覺	庭 家				
				性 質	容 儀	言 語	動 作	考 備						
				身 體	手 技	手 技	手 技	手 技	手 技	特 殊 事 項	戸 主 職 業	近 隣 狀 況	教 育 思 想	僕 婢 有 無
					1. 工 夫 力、推 理 力、 2. 手 技 中 何 々 に 得 手 なる か 等	1. 獨 創 力 等 2. 手 技 中 何 々 に 得 手 なる か 等	1. 獨 創 力 等 2. 手 技 中 何 々 に 得 手 なる か 等	1. 獨 創 力 等 2. 手 技 中 何 々 に 得 手 なる か 等	1. 獨 創 力 等 2. 手 技 中 何 々 に 得 手 なる か 等					

この、ふたば會々員は市内各小學校一、二學年主任并に受持及び幼稚園長并に保姆其他有志の者。

### ◎朝鮮保育界

大和田 りよう

此二三年ボツ々新設され追々盛に相成候事と存候へ共只今の處當府七ヶ所に候内私立六、公立一、(當庚子記念京城幼稚園)此

私立六の内三は鮮人收容他の三は内地人に候

前三の中一は御承知の京口女史主任せらる、京城幼稚園にて

(共立の性質の様候)東に貴族富豪幼児五十名收容に候

後の二は培花女學校梨花學堂(小學より女校まで)の附屬にて何

れも西洋人(キリスト教)各十五名乃至二十名の鮮人幼児に候他の

三は當府中なれど龍山と申方面に候皆(共立の性質)にて何れも四

五十名の收容に候

京口女史の外主任者度々交せられ共に集會研究等も時々交渉致

候へ共思ふ様にまとなり不申各園々にて別々に研究に候當朝鮮園

中にて未だ充分の調べは致さず候へ共公立は釜山、元山、仁川、京

城、鎮南浦の五ヶ所此外一二ヶ所は候らんも地方の私立園は大凡

佛教徒の寺院立にて中に元山の本願寺立平壤の淨土宗立は公立よ

りも園舎其他とも整頓致候へ共主任者に切角適任者を得たと思ふ

とすぐ他に轉じ又は嫁せられ候とたちまち後任者のある其間殊の

外困難なりとの事に候。(以上)

### ◎香川縣保育界

琴平幼稚園保姆 久住 モト

本縣保育會は明治四十三年創始爾來毎年總會を開き關係者相互の親睦を圖ると共に各種の問題を研究討議し、時に講習會等をも開催して近年稍縣下の一般に保育界に此種の團結ある事を認めらるゝに到りし様な次第であります。

本縣下には目下公立九園私設拾園都合拾九ヶ園にて外に近々開園の運びに到る公私立も二三ある由にて小さい縣として數の上で

は先づ多い方と存じて居ります、香川縣保育會とは此大小公私設の幼稚園關係者を以て組織致して居る小團結であります。

年一回の總會位では中々思ふ様に研究討議と申譯にはまゐりません、さりとて縣下所々に散在する關係者が幾度も集ると申事も容易ではありません、夫れ故、東讃、西讃と大別して東讃は主に高松市内の入園を中心として毎月集會を開き各種の相談をする事に成つて居り、西讃は阪出、宇多津、丸龜、多度津、善通寺、觀音寺、琴平と互に汽車の便をかりて毎月交代に集り、當番の園は、日曜を繰替へ保育して實地に就て研究致して居ります。

研究と謂ひ討議と申た處で結局其園で行はなければ今の場合何の役にも立ちません、意見、抱負として、徐々に改善向上せしめなければならぬは勿論ですが、さりとて「園舎でも建て替へて頂かねば私の主義の保育は行はれません」と其日々を何も彼も設備の不完全に負はせて暮す譯にもまゐりません、此點に於て本縣の保姆諸姉は誠に苦しい立場に居ります。

本縣下を參觀せられた方は、御承知でも御座いませよぶが、拾九個の内幼稚園開設の爲として建設されたものは一二であつて然もそれは二十余年前の設計故小學校の小さい風のもので其余は總て寺院とか小學校の一部とか、普通人家に不向の何かの建物へ少し手入れをされたものとか、利用されて居ります、此故に通常一般の方々が考慮研究せられる、保育上の理論の外に實地吾人は此不都合な住居取りに就ての利用配意が普大體ではありません、縣下の幼稚園の全部を理想的の設備に改造する事などは到底不可能でありますがせめて、せめて縣下に一園位は、理想の幼稚園を持ち度いものです、そして順に新設される幼稚園の標準にしたいも

のと切望致して居ります、此意味に於て、女子師範に附屬幼稚園の開設される事を鶴首して待つて居る次第であります。

右の様な状況でありますから、西讃の毎月の實地保育は是等の相談會であります、それには實際の保育を見なければ外の者では想像が付きません、分園が好い、集團が好い、いや自由選擇が、何とかと申た處で駄目であります、狭くて困つて居る所もあります又廣くて困つて居る所もあります、保姆の手が勤めて困つて居る所もあります、昨年七月倉橋先生の御渡島を煩して以來、保姆の殆どが聽講致しましたを幸ひ、互のノートを羅針盤として西讃の毎月の會合は行はれて居ります、そして島國の貧弱な會合、何等研究の機關と熱誠の指導者を持たぬ吾人はせめて、斯くの如くして一つにても過失からむ事を祈つて居ります。

## ◎岡山市保育界

岡山市立幼稚園 折井彌留枝

市内に於ける幼稚園数は七にして内縣立一、私立一、市立五なり、而して市立は何れも尋常小學校に附設し現在園兒數は合計九百三十名にして一園兒數多きは二百五十名より少きは百六十名までとす保姆は二十四名にして園長一名之を統一す一般に保育の効果を認むるの結果入園希望者甚だ多く毎年定員を超過すること夥しく止むなく願書に受附番號を附し身體検査を行ひ合格せし者より番號順に入園を許可し其餘は補員として願書を預り置き缺員のある毎に隨時入園せしむる事と爲せり然るに入園を迫まる父兄多く現在の儘にては到底收容し能はざるより大正八年度より一園を

増加する事に決定し現に新築中なり家庭は概ね中流以上にして保育料は従来一箇月四拾錢なりしも八年度より五拾錢に増額する由なり

### 市内各園統一方法

左之市立幼稚園經營概要に依り之が統一を計り居れり。

### 目次 (内容は次回にゆづる)

#### 一、園則

#### 二、保育方針

#### 三、幼稚園生活

保育事項の區分 要旨  
選擇 生活に由る保育  
保育の効果測定  
幼児の躰方に付

#### 四、保姆の心得

#### 五、事務の分掌

#### 六、家庭との連絡

#### 七、家庭連絡内規

如上は一般的の者にして内容の實行には各園の特徴を尊重し其の長所を助長する事につとめ居れり

### 現在幼児生活に就て

保育方針に付ては體育方面に重きを置くと共に戦後の教育上より特に自治獨立共同眞面目の精神を培養せん事を期し幼児の純自然生活中にも之れが機會を逸することなく其目的を貫徹せしめ道徳品性の陶冶獨創確立の習慣を養ひ以て一層各個性に合致する保育を行はんがため特に留意して實施せる保育の一部を左に擧げん爾來行ひ來りし一濟的保育は其の成績良好ならざりしを認め可成

幼児の自由選擇に任し各個性に相應するの指導を與へ團體の取扱ひも特別の方法を講じ普通受持幼兒數四十人なるも特に十人の團體を作り殘余の幼兒は他の組の郊外保育に加へ可及の少數範圍にて個性を調査し之に適應の觀察指導を行へり之が結果として近時園児の發育比較的伸びゆくしたるやの感あり室内保育の材料として種々ある内殊に興味を引起し獨創工夫の機會を與へ得る床上積木(煉瓦形の長さ三尺、二尺、一尺の積木)目下學校教室増築中に付種々變形の木片及板片等を使用せしめ各個に又共同的に自由に製作する事に務め居れり其他最も趣味ある材料として粘土製作を盛行ひ自然材料として種藝盆栽穀類の培養動物の飼育等を行ひて自然の法則に觸れしめ自然に對する愛と興味とを喚起せしむ特に身心の發達上には最も意を用ゐ現在各園相當園庭及園舎を有すれども猶一層外遊を多く利用して遊嬉せしむるの方針を取れり彼の天地は眞の天與の保育場なりとの語に従ひ或は山に登らしめ或は限界なき山野或は綠草萌出づる農園等に遊ばしめ以て彼等の活動性と好奇心をして満足せしめ圓滿なる感情に導き且つは身體各部の健康を増進せしむることに務む又各園とも砂場の設備なきにあらざれど廣大なる天然的の砂場を利用せん爲め近傍の旭川礫或は竹田礫(旭川の沿岸)などに連れ行き彼等の活力の限りを盡さしめ或は井戸を掘り鍛道工事をなし「トンネル」を作り流れを通ふ高瀬舟や帆掛舟等を直接眺めては木の葉舟を作るなど思ひの儘に遊ばしめ所謂純自然生活の状態に没頭せしむる事に傾注せり。春の長閑けき期節には後樂園、東山公園、奥山公園などに連れ行き雪と散り來る櫻の下にてけんげ、たんぼ、すみれ、土筆などの摘草を行ひ秋には種々の虫追ひ殊にキリゴなどの雌雄の見分けをなし

持歸りては養虫箱に入れ餌として庭園に作りし茄子、胡瓜などを與へ食する様鳴く様などを觀察せしめ足摺り羽ばたき等の實狀を實見せしめつゝ各兒の個性を有の儘に觀察せり、かくて郊外保育に依りて自然界に觸れしむるのみならず往復途中或は建築場、水車、工場、教育館等の如き實科的觀察をなさしめ其他社會の善美なる方面に就き指導を與へ居れり、獨郊外保育の副産物としては時々他園兒と偶然會合しては互に親しみ互に馴れ合ひ遊戲なすもの、まゝこと、相撲、鬼事、物の取替せ事など實にうるはしき動作の知らずくの内に行はれ保母の挨拶に幼兒も模倣して互に挨拶を爲し各園一家族の如くなりて互に興を盡し歸園の際互に別れな名殘惜げに歸るなど社會的生活の實習を演じ知らずく涙を催はす程のいぢらしさを感ずることもありて此天真無垢なる友情の發露を見るもの保育の効果が無視するものあらんや。

#### 種子採集として

松の種、椎、樺、榊、榎の實、紅葉種、檜、銀杏、かや、茶の實、其他雜草

#### 芽生採集として

松、樺、批把、椿、紅葉、橘などを持ち歸り或は種蒔用栽培とし或は實生活の實習としては松笠、松葉など採集し歸園後此等材料にて湯を沸し或者は水を吸む或者は火を煽ぎ仕度出來れば辨當用に供するなど眞に興味を喚起する事少なからずと信ず。

#### 集會の摸樣 講演 研究

#### 一、母姉會

イ、入園當日は保護者に對する一般的心得及保育方針を話す。

りて數名宛を召集す。

ハ、家庭との連絡と實地保育の參觀をなさしむ。

#### 二、小學校との打合せ

一學年擔任の職員と會合し幼稚園に於ける幼兒取扱方の一般及び新入學後の兒童の性質偏僻等の觀察點等に就き打合せなす。

#### 三、保母會

本會は市立各幼稚園の進歩改良を圖り保育上の打合及研究發表(毎月一回各園巡番)をなす。

#### 四、主任會

園務の打合

#### 五、吉備保育會

縣下の保母及助手并に有志者等結合にして保育に關する研究をなさんとして本會を設け左の事業を行ふ。

一、保育に關する演説

二、保育に關する講習

三、保育に關する研究

#### 六、保育研究會

每週各園巡番にて實地保育の參觀を行ふ其他音楽、衛生、生理、心理の研究中。(以上)

## ◎大阪市保育界

### 各區保育會

大阪市保育會沿革

明治十一年二月府は木村末、氏原銀の二名を官立東京女子師範學校附屬幼稚園に保姆見習生として上學せしめ翌年三月大阪幼稚園手引と稱するものを發布し其五月業を卒へ歸府するに及び府立幼稚園を北區常安町に創設し之を大阪府立模範幼稚園と名く之れ地方幼稚園設置の第一着なり。明治十三年六月一日東區北濱五丁目に開園、之本府幼稚園の最古幼稚園の創とす次で北區西南にも設置せらるゝに至る。

### 二、會創立の計劃

明治三十年七月二十日東區保育法研究会を同汎愛幼稚園に開くに當り神戸市頌榮幼稚園主幹エールハリ嬢を聘し米國幼稚園事業視察談を請ふ此時全市幼稚園保姆及び園長來會せるを機とし大阪市保育會設立の計を立つ。

### 三、組織及其變遷

創立當時の本會は普通大阪市幼稚園職員を以て組織し會長一名副會長一名幹事八名により諸般の事務を掌理せり明治三十八年に至り常議員を置く、市保育會の設立は各區保育會設立の動機となりたるが如し明治三十三年四月大阪府女子師範學校長大村芳樹氏會長となり爾來事業の遂行を計りしも本會と四區保育會及市當局との關係を密ならしむるの故を以て明治四十三年四月本會は大阪市四區保育會の聯合となり今に至る。

但明治四十五年四月より會長に市長を仰ぎ副會長は市學務課長及女子師範學校長を推す。

### 四、事業

本會創立以來既に二十星霜を閱し其間或は斯道専門家の講演に或は各種の調査に或は講習會の開催(保姆養成をも含む)に或は

雜誌の發行に或は京阪神三市聯合保育會の加盟に本市保育の改善進歩に對し熱誠努力しつゝあり。

### 京阪神三市聯合保育會

明治三十年十一月其第一回を京都に舉行爾來毎年一回以上各地輪番に開會して斯道改良の上に相提携互に相利する處あるのみならず機關雜誌を年二回發行して之を各會員に頒つ事とせり本年二月を以て第四十二號を發刊す之が編輯は創立以來當市之を擔當す。

### 第二回全國幼稚園關係者大會

本年秋季當地に於て開かれんとせる大會に關しては昨年九月より其準備に着手し居れり。(以上)

### ○東區保育會

#### 一、沿革

本會は明治二十七年東區教育會の一部として保育法研究会なるものを組織せられ同二十九年四月東區保育研究会と稱して獨立し後東區保育會と改稱して今日に至る。

#### 一、組織

本會は東區公私幼稚園職員、名譽職員その他の特志者を以て組織す。

#### 一、本會事業の概要

イ、毎年春季總會を開き會務報告、役員の改選保育の研究等をなす。

ロ、例會は會員集合して保育に關する問題の討論或は研究をなし實際保育の經驗、研究等の發表をなす又名士を聘して聽講

することあり。

ハ、毎年數回講習會或は講演會を開く講演會は公開することあり。

ニ、毎月一回以上研究會を催し首席保母會合して保育の研究或は保育事務の打合をなす。

ホ、毎年二名以上の會員を地方に出張せしめ保育事業の視察をなして報告せしむ。

ヘ、市保育會、三市聯合保育大會には會員出席して保育に関する問題の研究或は遊戯の交換等をなす。

ト、三市聯合保育雜誌は購入して會員に配布す。(以上)

### 本年度集會の二三

一、大正七年六月二十六日午後一時より例會開催

1、講演

談話のしかた 元高等師範學校助教 山内 藤馬氏

2、會員相互の談話(各園より)

イ、保母と自然との關係

ロ、幼兒の接觸點について

ハ、子だから

ニ、尋常一年の受持より見たる保育修了兒の長短

ホ、お伽噺 どぶ龜の話

ヘ、錦魚、鯉の病氣豫防法並にその療法について

3、遊戯 阪田雪時

二、講習會

1、大正七年九月十六日より向ふ五日間午後一時より約二時間

談話の理論と實際について

講師 山内 藤馬氏

2、大正七年十月より毎月二回(毎回約三時間)八年三月迄の豫定

基本的體操並に簡單なる遊戯の實習

講師 清水谷高等女學校教諭 中島 キク氏

三、講演會

1、大正八年二月十日午後一時より通俗會開催

童話と科學について 講師 巖谷 小波氏

### ○西區保育會

講演會

1、大正七年四月二十五日江戸堀幼稚園に於て總集會開催の際谷本

富氏を聘し講演會を開催せり演題は兒童の道德意識に就て

講習會

2、大正七年九月十五日より拾壹月拾日に互り(毎日午前九時より約二時間宛)五

回開催せり講師は笠原醫學博士にして科目は兒童の衛生生理

保育研究會

3、首席保母 一回開催

園長首席保母 一回開催

4、植物採集

大正七年六月十六日(日曜日)宇治附近に於て植物採集を行ひ傍ら

宇治發電所内を見學せり

5、雜誌の發行

二回三市聯合保育會にて發行の分を購入し會員に配付せり

6、三市聯合保育會

大正七年六月九日神戸市に於て開催の三市聯合保育會に會員七十

名出席せり  
右本年度實施事業の概要

豫定事業の概要  
1. 植物採集一回  
2. 通俗談話會二回  
3. 管外保育事業視察員派出

### ○北區保育會

#### 一、創設

明治三十六年十一月本會事務所を北區役所内に設置し北區保育會と稱せり時に會員約三百名あり

#### 二、編成

##### 一、會員

通常會員 月金五錢

特別會員 同金拾錢

終身會員 一時金拾圓以上を納むる者

名譽會員 本會に於て特に功勞ありと認めたる者

##### 二、役員

會長一名 副會長一名 評議員十五名 幹事三名 常務幹事一

名 收入役一名

#### 三、事業

##### 一、總集會

毎年二回之を開き會務の報告演說討論議事等を行ふ但必要に

應じ臨時總集會を開くことあり

##### 一、臨時會

臨時有志會員會合して保育に關する討論をなし又は講習會等を開く

#### 一、評議員會及幹事會

必要に應じ隨時之を開く

#### 附則

本會は他の三區保育會と聯合し大阪市保育會を組織せり

#### 四、最近の概況

##### 一、大正七年度會員數

終身會員六人 特別會員貳百九十六人

通常會員七百八人(教育者の外幼兒の母姉多數を占む)

計一千十人

##### 一、大正七年五月二十二日評議員會開會

##### 二、同六月八日堀川校内に總集會開會

##### 三、同六月十七日堂島園内に評議員會開會同時に市保育會常議員會を開く

##### 四、同六月二十八日下福島園に通俗保育講演會を開く

##### 講師 竹村一氏

##### 一、同七月十一日堂島園内に通俗保育講演會を開く

##### 講師 大阪市醫 三田谷啓氏

##### 二、同七月十九日より同二十三日迄五日間堂島小學校に於て(幼稚園教育に關する諸問題)講習會を開く

##### 講師 倉橋惣三氏

##### 一、同七月二十二日菅南校内に通俗保育講演會を開く

##### 講師 倉橋惣三氏

##### 講師 倉橋惣三氏

##### 一、同十月十二日堂島園内に評議員會を開く

##### 二、同十月二十五日堀川園所屬會員運動會を箕面に開く

##### 一、同月下福島園同

##### 住吉



住吉

- 一、同十一月三日菅南園同
- 一、同十一月中に於て東京 廣島 京都 三市の保育事業視察の爲保姆二名宛に出張を囑託す

- 一、大正八年一月十八日中之島園は運動會を兼ね通俗保育講演會を同園内を開く

講師 市視學 山口正氏

- 一、同二月十一日堂島園所屬會員の運動會に代る子供會を開く

講師 巖谷小波氏

- 一、同三月中に安治川園所屬會員の爲に運動會及同園に於て通俗講演會開催の豫定 以上

### ◎名古屋保育界

#### 名古屋保育會

由來當地方は凡ての點に於て因循姑息打算的なるは有名なることと有之候我保育界に於ても其數に漏れず保姆が其職務に興味を有し責任を感じて從來するもの實に曉天の星の如き有様に有之候處漸く近來に至り公私立園保育會の合同を成立せしより活氣を呈し來り各自自覺して職務に忠實ならんとするの曙光を示し來りしは誠に慶賀すべきことと存申候尙今後一層會の發展を計り集會に講演に研究に益々斯界の爲めにと相互に努力致居候左に名古屋保育會の事業としての已往集會を記載し御一覽に供し申候

#### 第一回研究會

時日 大正七年十二月六日午後一時より

場所 名古屋市立第一高等女學校松操館

講師 愛知縣第一師範學校教諭文學士山橋氏

演題 幼稚園作業の具體化其他

#### 第一回講習會

時日 大正八年一月十五日より十七日迄三日間各午後一時より

場所 同前

講師 大阪府廳衛生主事補醫學士竹村一氏

演題 幼兒の身體并其検査法

#### 第二回研究會

時日 大正八年二月七日午後二時より

場所 同前

實驗談 各園一名の代表者によりて

井批評

其他新年會を開き會員相互の親睦を計り候

#### 名古屋保育會規則

第一條 本會ハ幼兒保育上ノ研究及改善ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ名古屋保育會ト稱シ事務所ヲ當分市立第一高等女學校内ニ置ク

第三條 本會ハ名古屋市内幼稚園々長及保姆ヲ以テ組織ス但本會ノ目的ヲ達成シ入會ヲ希望セラルル有志者ハ之ヲ贊助會員トス

第四條 本會ニ左ノ役員ヲ置キ諸般ノ事務ヲ處理セシム

會長 一名

理事 二名

幹事 若干名

役員ノ任務左ノ如シ

第五條

役員ノ任務左ノ如シ

第五條 役員ノ任務左ノ如シ

會長ハ本會一切ノ事務ヲ總理シ議事アルトキハ議長ノ任ヲ掌ルモノトス

會長ハ臨時書記ヲ雇入ルルコトヲ得  
理事ハ庶務會計其他ノ會務ヲ分掌ス

幹事ハ本會ノ經濟及重要事務ニ付商議ヲナス  
第六條 役員ノ選舉及任期左ノ如シ

會長ハ總會ニ於テ公選ス

理事ハ會長之ヲ選定ス

幹事ハ各園ニ於テ一名宛選出ス

役員ノ任期ハ二ケ年トス

第七條 本會ノ目的ヲ達セン爲左ノ事業ヲ行フ

一、總會 毎年五月上旬

一、講演會 必要ニ應シ其都度方法ヲ定ム

一、講習會 必要ニ應シ其都度方法ヲ定ム

一、示究會 必要ニ應シ其都度方法ヲ定ム

一、其他保育ニ關スル必要事項

第八條 會員ハ本會ノ經費トシテ一ケ月金貳拾錢ヲ齎出スルモノトス

贊助會員ハ每年金壹圓以上ヲ齎出スルモノトス

本會ノ事業ニシテ特ニ經費ヲ要スル場合ニハ其都度齎出ノ方法ヲ定ムルコトトス

以上

名古屋保育會内規

一、役員組織ニ就テ

理事ヲ庶務部會計部ニ分ツ

一、庶務部ハ會ノ一般庶務及研究會、講習會、講演會等ノ事業ニ關スル事務ヲ取扱フ(本期間第一幼稚園長)

二、會計部ハ會員名簿ヲ作り置き毎月ノ會費ヲ徵收シ之ヲ郵便貯金トシ經費出納簿ヲ作り置き收入支出ヲ明カニシ毎年總會ニ收支ノ決算報告ヲナスコト(本期間市立第三幼稚園長)

二、會費徵收方法

會費徵收ハ大正七年十二月ヨリスルコト、毎月ノ徵收ハ各園ノ幹事ニ於テ其園毎ニ取纏メ毎月十日迄ニ會計部ニ送ルコト

各園幹事ハ毎月十日迄ニ其園ノ會員ヨリ會費ヲ徵收シ之ヲ取纏メテ會計部ニ送ルコト

三、保育會事業ニ就テ

毎年五回(四月、七月、十月、十二月、二月)第一金曜日午後一時ヨリ研究會ヲ開クコト但シ四月ニ限リ第四金曜日ニ開會トス

場所ハ當分市立第一高等女學校

方法ハ保育ニ關スル諸問題ノ研究及調査、大家ノ意見ヲ聽キ若クハ會員交互ノ實驗談等ヲ述フルコト

特別研究トシテ毎月一回一定ノ講師ニヨリテ講習ヲ受クルコト

(連續的ニ)會費ハ別途支出ニシテ一ケ月參拾錢